



明秀学園日立高等学校 第17期生通信

1・2月号

- 1 セルフコントロール (学年主任より)
- 2 平成26年度 PTA懇談会
- 3 平成26年度 後期賞状伝達
- 4 茨城大学合格者にインタビュー
- 5 卒業式を迎えるにあたって

セルフコントロール

年が明けセンター試験も終わり、本日で高校最後の学年末考査が終了しました。明日から自由登校期間に入ります。残る登校日は卒業式予行と卒業式の2日間です。この2月・3月に自分の次のステージに向けた準備をどう進めていくかで、4月からの生活が大きく変わると思います。また、せっかく自由に使えるまとまった時間です。人生の中でこれほどまでに長い期間を自由に使えることはそうそうあることではないと思います。自動車免許を取得したり、アルバイトを行うことも決して悪いことではありませんが、次のステージに進んだ自分を想像して、今のうちにどんな準備をしておくべきか、この貴重な時間を利用して何をすべきかを良く考えて計画的に行動してください。

「セルフコントロール」という言葉がありますが、現代社会において、また高校卒業後の世界において、最も重要なことは自分自身を自分で管理していくことです。まさに「自立」と「自律」です。時間の管理、金銭面の管理、健康の管理、目標の管理、心の管理、仕事や授業の管理… ありとあらゆるものの管理を自分自身で行わなければならないになります。きっとこれまで自分は「自立」できていると思い込んでいた部分もたくさんあるかと思いますが、高校を卒業し、社会や上級学校に放り出されると、如何に自分自身が親や先生に管理してもらっていたかに気づくはずですが、人に管理されないというのは「自由」を手に入れることかもしれませんが、そこには同時に大きな「責任」が発生するというのも忘れてはいけません。とくに親元を離れ一人暮らしをする人や、就職して自由になるお金を稼いだり、車に乗って行動範囲の広がる人たちにとって、ある意味での「自由」を手に入れたという喜びの裏側に「自分自身の行動を自分が管理しなければならない」という「責任」や「義務」があることを忘れないでください。実際にこの国には国民の三大義務として、「勤労の義務」、「納税の義務」、「教育を受けさせる義務」というものが定められていますね。自分自身の豊かな生活を確保するためにも、一人一人が何らかの形で社会に貢献していかなければいけません。自分自身がどんなことで社会に貢献していけるか、そして自分自身の人生をより豊かにしていくためにどのように生きていくべきか、まさに今がそういったことを真剣に考え、自分自身の足で歩みを始める時期なのです。

私は現代社会に生きるために最も必要な力こそがセルフコントロール力だと思います。とくに自分自身の心を管理していくために、感情のコントロール、コミュニケーションスキル、セルフコミュニケーションスキルといったものが不可欠になります。言葉では難しく感じられるかもしれませんが、実は規則正しい生活を送ることや、感謝の気持ちを大切にしてコミュニケーションの基本である挨拶などの礼儀を大切にしたり、掃除や整理整頓に心がけ、道端のゴミを拾ったりしていくような小さな行動の積み重ねこそが自己管理の基本と言えるのではないのでしょうか。

学年主任 筑波 大

2月・3月の予定

【2月】

2日(月)	3学年成績発表
11日(水)	建国記念の日
14日(土)	ST/S授業日 A/B週休日
17日(火)	卒業認定会議
20日(水)	2年A/Bコース マレーシア修学旅行 (~25日)
27日(金)	卒業式予行
28日(土)	ST/S授業日 A/B週休日

【3月】

1日(日)	卒業式
-------	-----

平成26年度 P T A懇談会

平成26年12月6日（土）、ホテル天地閣にてP T A懇談会が行われました。学年主任からの現状報告の後、1・2組はクラス懇談会、3・4・5・6組および7・8・9組はコース別懇談会を行いました。保護者の皆様からいただいた貴重なご意見やご要望を教育活動に生かしていけるよう、また本校の教育活動の様子をできるだけタイムリーに保護者や地域社会の方々へお伝えしていけるように常に改善の努力をしていきたいと思っております。お忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



平成26年度 後期賞状伝達

12月22日の第2学期終業式および1月8日の第3学期始業式に賞状伝達が行われ、3学年からは以下の生徒が表彰されました。

- ・実用数学技能検定 準1級合格 3年1組 滑川 静海
- ・実用英語技能検定 2級合格 3年2組 斉藤 香穂
- ・書道部 平成26年度 茨城県高等学校総合文化祭 書道の部
入選 3年4組 大高 侑佳
3年6組 鈴木 歩美
- ・茨城県私立中学高等学校保護者連合会善行生徒表彰 3年5組 小林 匠
- ・茨城県教育センターより感謝状 3年6組 鈴木 歩美
- ・バスケットボール部 平成26年度茨城県バスケットボール協会表彰優秀選手
3年4組 前田 沙綺
3年9組 中尾 仁美

茨城大学合格者にインタビュー

今年度、Aコース4組より茨城大学に見事合格した鈴木優香さん（高萩中出身・バスケットボール部主将）と中西華波さん（日高中学校出身）のお二人に5つの質問に答えていただきました。

①目標大学に合格した感想を教えてください。

—鈴木さん 明秀に入学する前から茨城大学に入りたいと思っていました。その気持ちを3年間曲げずにやってきましたが、推薦入試で合格するのは難しいと言われていたので、合格を知った瞬間は正直驚きました。合格の実感がわいてくると、嬉しい気持ちとこれまで支えてくれた人たちのへの感謝の気持ちでいっぱいでした。

—中西さん 入学当初から目標のひとつであったところだったので合格した時は率直にとっても嬉しかったです。とても興味のある分野を学ぶことができるので楽しみです。気を引き締めてしっかり頑張りたいと思います。



②3年間を振り返って、高校生活の感想を聞かせてください。

—鈴木さん 勉強と部活の両立を3年間続けました。でも、3年生になるまでは正直、部活動に力を入れていたと思います。結果がどうであれ、後悔しないために自分にできる精一杯のことをし続けました。結果、インターハイで全国ベスト16に入ることができ、自分なりに良いチームで良いゲームができたと思っています。本当に楽しかったし嬉しかったです。引退してから本格的に受験勉強、推薦入試に向けての準備をしました。先生方のサポートもあって何とか推薦で合格できました。

—中西さん 生徒会活動やボランティア活動を積極的に行うことにより、人々との繋がりを強く意識することができた3年間でした。また、私が受験した学科は、このような地域活動や文化活動の経験が受験にとっても有利なところだったので、これらの経験が自分の強みになったのではないかと思います。

③受験勉強で努力したことやとくに苦勞したこと、工夫したところはどんなところですか？

—鈴木さん センター試験については、問題集や過去問など、試験と同じ時間で何度も繰り返し解きました。そして復習には一番の時間をかけて理解できるまでやりました。また、休み時間や通学時間も利用して勉強しました。推薦試験に向けては、面接が重視されていたので、幅広い分野で答えられるように事前に準備しておきました。集団面接だったので、周囲に流されないよう堂々と笑顔で話すことを心がけました。

—中西さん 推薦入試に向けては、当日の面接試験で質問に答えやすいように事前に提出した活動報告書を面接で聞いてほしいことを拾ってもらえるようにパワーポイントでわかりやすくまとめて作成しました。センター試験に向けては、今まで正直あまり勉強に力を入れてこなかったのも苦勞しました。受験勉強のスイッチが入るのも遅かったので、特編授業が始まってから必死に詰め込みました。自己採点ではギリギリ目標点に到達できましたが、1年生からもっとしっかりやっておけば良かったと思います。

④大学生活での目標や将来の夢を聞かせてください。

ー鈴木さん 将来の夢は保健体育の教員、バスケットボールの指導者として教育に携わることです。大学生活では、勉強も遊びも様々なことにチャレンジして実りある4年間にしたいです。大学の講義だけでなく、直接子どもと触れ合える活動やボランティアに積極的に参加したいです。興味を持ったことに挑戦したり、行ってみたい場所に行ったり、たくさんの経験を積むことで幅広い考えや視野を持てるようになりたいです。

ー中西さん 私の将来の目標は、地域振興に携わる仕事に就くことです。具体的にはイベントを企画・実行したり、地域の魅力を伝える広報活動です。そのために大学では、地域社会の現状を理解できるようしっかり勉強したくさんの人と関わって、自らの発想力、発信力をより豊かなものにしていきたいと思えます。



⑤最後に後輩たちに伝えたいことはどんなことですか？

ー鈴木さん 推薦入試で合格できたことは嬉しかったです、1・2年生のうちからしっかり勉強しておいて一般入試でも入れるようにしておけば良かったと思っています。公募推薦試験は、この対策をすれば大丈夫、というようなものがないので、1・2年生の皆さんは後悔しないためにも早いうちから勉強をして、目標の大学に合格できるように頑張ってもらいたいと思います！明秀に来てよかった！！と思えるような高校生活を送ってください。

ー中西さん 1・2年生のうちからちゃんと勉強していれば後からあまり苦労しないと思うので頑張ってください。あと、高校生活もあつという間なので存分に楽しんでください。と後輩に伝えたいです。

鈴木さんも中西さんも、推薦試験合格後も学力向上のため受験勉強を怠ることなく努力し続け、自らの挑戦としてセンター試験を受験し、すべての教科で自己の目標とする点数をとることができたようです。二人に共通して言えることは、入学時より大学進学への明確な目標を持っていたということ、そしてもちろんその先にある将来について、夢やビジョンをしっかり持っているということです。また、二人とも非常に明るく朗らかで、豊かな人間性を持ち合わせており、自分の考えや信念をしっかりと持って行動し、それを伝えるコミュニケーション能力に優れています。勉強だけではなく生徒会活動や部活動、ボランティア活動など、まさに日々の様々な努力が実を結んだ例として紹介させていただきます。

～ 卒業式を迎えるにあたって ～

卒業式は高校生活の集大成です。お世話になった方々の前で、3年間努力した凛々しい姿を堂々と見せたいですし、思い出に残るすばらしい式典にしたいと心から願っています。

卒業式当日を清々しく迎えるために、自由登校期間に容姿の乱れや問題行動、交通事故などが無いように十分に気を引き締めて生活を送ってください。また2月2日の成績発表、27日の卒業式予行にもしっかり登校し、卒業に向けた準備をしっかりしておきましょう。

卒業式当日の様子は日立市のケーブルテレビJ-WAYでも放送される予定ですので後程詳しくご案内いたします。